

授業科目名・形態	早期体験実習	実習	必修・選択の別		必修
担当者氏名	小玉光子・水木暢子・岩間薫・佐藤純子・ 畠山禮子・黒澤繭子・今野修・小畑千春・ 千葉孝子・高山新吾・伊藤洋介・山平良 子・若狭由紀子	開講期	1年前期	単位数	1

【授業の主題】

入学した早い時期に患者と患者を取り巻く環境を知り、実際の看護場面や看護職者の業務・役割を学ぶことによって看護の重要性を認識し、看護学生としての自覚を促す。

【到達目標】

1. 病院の概要、看護部の組織、看護体制、看護理念が理解できる。
2. 入院患者の特徴が理解できる。
3. 入院患者の環境（病棟の施設・設備を含む）が理解できる。
4. 入院患者の療養生活が理解できる。
5. 病院で働く看護職者の業務や役割が理解できる。
6. 看護職者の患者との関わりについて理解できる。
7. 看護職者和其他の医療職者との連携について理解できる。

【授業計画・内容】

実習の概要についての詳細は実習オリエンテーションにて提示する。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰで学んだことを十分に復習して、実際の臨床現場での早期体験実習に臨むこと。

【主な関連する科目】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅰで使用した教科書・資料

【参考文献】

必要時配布

【成績評価方法】

出席状況・実習状況・実習記録（100%）により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

患者さんの健康状態の段階を知り、どのような環境で療養生活を送っているのか、その現状を学んでください。この実習で学んだことは、その後の学内での講義や演習に対する皆さんの姿勢に大きな影響をもたらすことと思います。